

概要版 **福山市**
**多文化共生
推進プラン**

計画期間：5年間

2025年度（令和7年度）～2029年度（令和11年度）

広島県福山市

福山市市民局まちづくり推進部多様性社会推進課

〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号

電話番号 084-928-1002 FAX 084-928-1229

1 プラン策定の背景と趣旨

本市の、外国人人口は年々増加し、近年ではベトナムをはじめとした東南アジア諸国出身者の増加等による多国籍化、在留資格の構成の変化など環境は大きく変化しています。

今後は、誰ひとり取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向け、多文化共生のまちづくりが、より一層求められています。

また、福山市を連携中枢都市とした、三原市、尾道市、府中市、竹原市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市及び井原市で構成された備後圏域においても、人口減少は進行しており、多様な人材の定着に向けた取組が必要です。備後圏域一体となった多文化共生のまちづくりの推進が求められています。

こうした状況を踏まえ、本市及び備後圏域における外国人住民を取り巻く現状や課題を明らかにし、本市のこれまでの取組を継承・発展させ、多文化共生に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため「福山市多文化共生推進プラン」を策定します。



びんご圏域
多文化共生推進ビジョン

びんご圏域多文化共生推進ビジョンとの関係

備後圏域7市2町が、共通の理念を持ち多文化共生の取組を推進していくため、「びんご圏域多文化共生推進ビジョン」（以下「推進ビジョン」という。）を策定し、多文化共生社会の実現に向け取り組みます。本プランは、推進ビジョンにおいて定める、基本理念、基本方針、施策体系及び施策の方向性に、本市における具体的施策を加えたものとします。

「外国人住民」とは

このプランでは、日本国籍の有無にかかわらず外国にルーツを持ち、本市や備後圏域に関わりのある人を「外国人住民」という言葉で表現します。

2 福山市及び備後圏域の外国人の現状

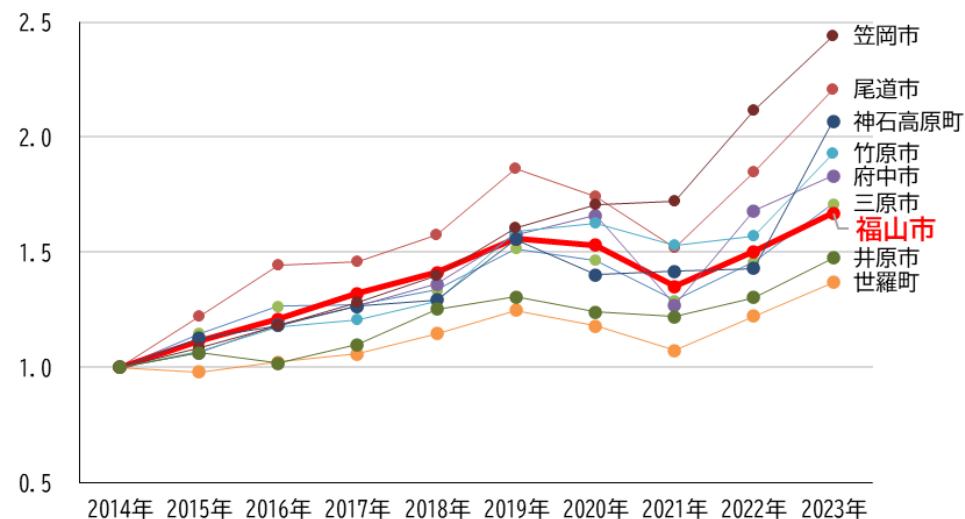
(1) 人口推移

備後圏域における外国人は増加傾向にあります。

2014年（平成26年）の外国人を1とした伸び率をみると、2023年（令和5年）で福山市は約1.6倍ですが、最も増加率が高い笠岡市は約2.4倍、次いで、尾道市が約2.2倍となり、いずれの市町も増加傾向となっています。

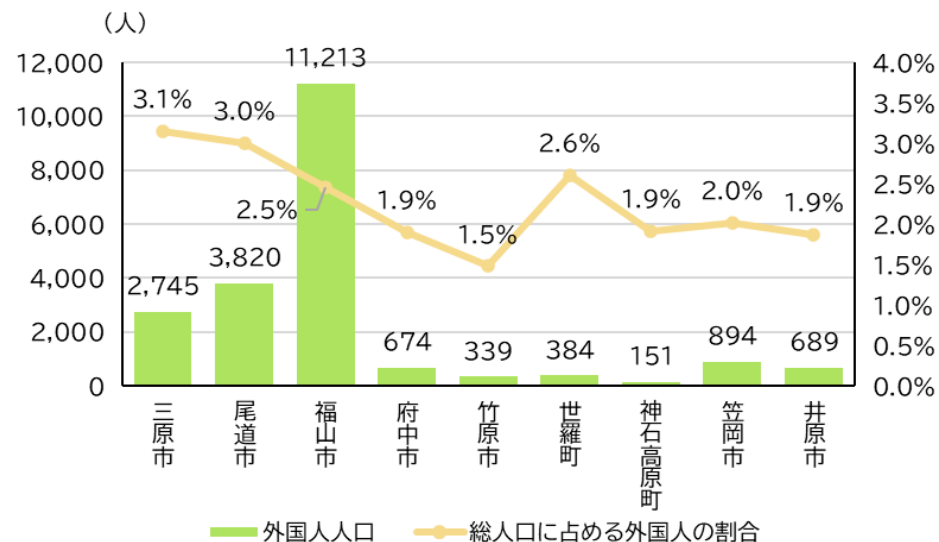
2024年（令和6年）5月末の外国人は、福山市が最も多くなっていますが、総人口に占める割合では三原市の約3.1%が最大となっています。備後圏域全体の外国人は20,909人で、全体人口の約2.5%が外国人となっています。

■外国人の増加率



資料：法務省 在留外国人統計(各年12月末)より算出

■外国人人口と総人口に占める割合

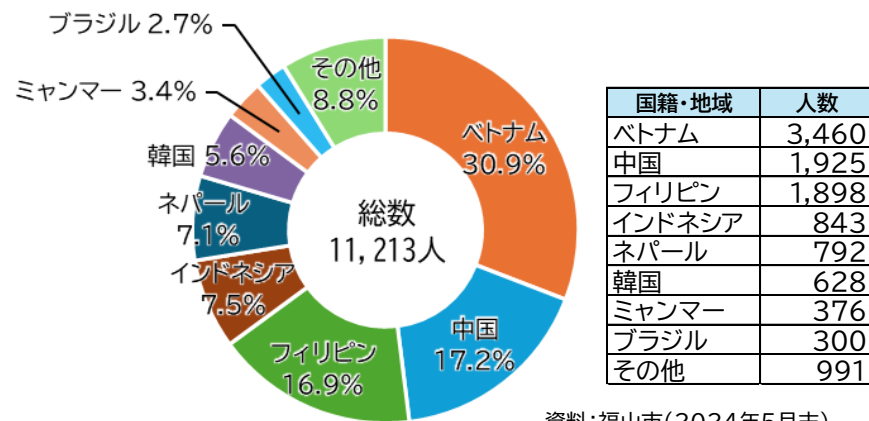


資料：備後圏域各市町(2024年5月末)

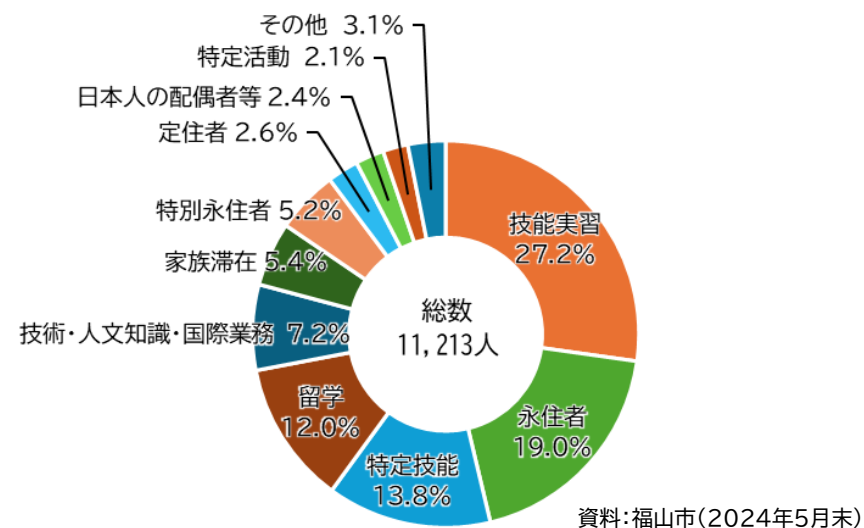
(2) 国籍・地域別、在留資格別の状況

備後圏域の外国人を国籍・地域別で見ると、ベトナムやフィリピンなどの東南アジアの割合が高くなっています。在留資格別では、技能実習や特定技能が高くなっており、本市においては、備後圏域の割合と比べて、永住者や留学の占める割合が高くなっています。

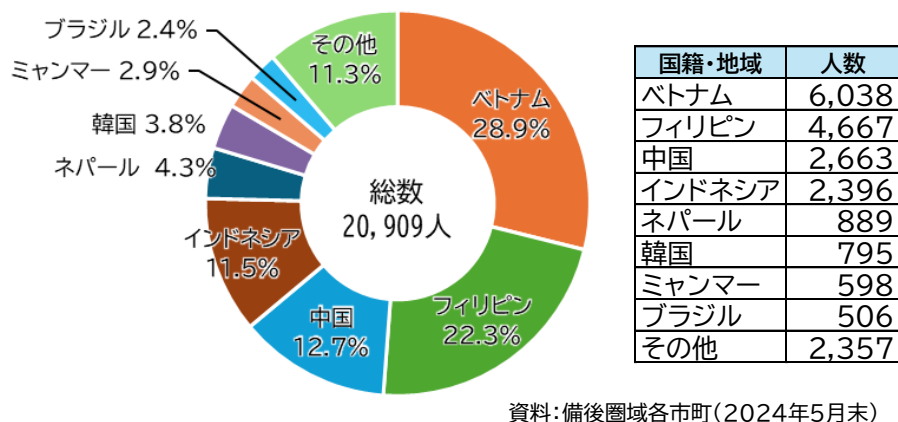
■福山市の国籍・地域別割合



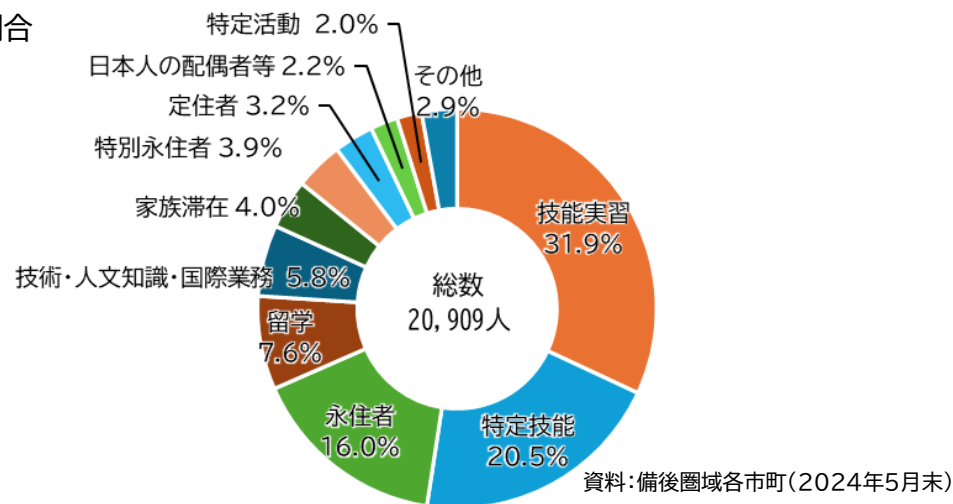
■福山市の在留資格別割合



■備後圏域の国籍・地域別割合



■備後圏域の在留資格別割合



3

基本理念、基本方針及び施策体系

基本理念を達成するために必要な3つの基本方針と、基本方針の実現に向けた施策体系を示します。

基本理念

互いを認め合い
多様性を活力に
みんなで創る
多文化共生のまち

基本方針

1 コミュニケーションを通じて
つながり合うまちづくり

2 誰もが安心安全に暮らし
続けることができるまちづくり

3 誰もが活躍できるまちづくり

施策体系

- | | |
|---------------------------|----|
| 1 日本語学習機会の充実 | 重点 |
| 2 外国人住民に伝わるコミュニケーション手段の普及 | |
| 3 相互理解の促進と多文化共生の機運醸成 | |
| 1 行政情報等の多言語化の推進 | |
| 2 生活相談体制の充実 | 重点 |
| 3 オリエンテーションとアウトリーチによる支援 | 重点 |
| 4 こどもの教育機会の確保 | |
| 5 子育て・保健・福祉・医療・介護等に関する支援 | |
| 6 防災、交通安全・防犯の推進 | |
| 7 住まいの確保と就労環境の整備 | |
| 1 外国人材の受入れ支援 | |
| 2 定着促進とキャリア形成支援 | 重点 |
| 3 地域社会への参画と協働 | |
| 4 海外都市等との国際交流 | |

※本プランと、びんご圏域多文化共生推進ビジョンは、基本理念、基本方針及び施策体系を共通のものとして定めます。ただし、重点項目については、本プラン独自のものとし、本市が重点的に取り組む施策とします。

4 目標と具体的な取組内容

基本方針 1 コミュニケーションを通じてつながり合うまちづくり

外国人住民と地域住民が共に生活していくため、円滑なコミュニケーションを促進するとともに、交流を深めることで、お互いを理解し尊重し合えるまちづくりを推進します。

1-1 日本語学習機会の充実

重点

- ・ 地域日本語教室の充実
- ・ 日本語学習支援に携わる人材の育成
- ・ 地域や職場で実施する日本語学習への支援

1-2 外国人住民に伝わるコミュニケーション手段の普及

- ・ 「やさしい日本語」の普及
- ・ 翻訳アプリ等のICTの活用の推進
- ・ 地域住民を対象とした外国語学習機会の提供

1-3 相互理解の促進と多文化共生の機運醸成

- ・ 相互理解のための交流や意識啓発
- ・ 外国人差別の解消に向けた取組
- ・ 多文化共生に取り組む団体等の活動共有

●目標指数（K P I）

指標	現状 (2024年度)	目標値 (2029年度)
日本語で会話ができると回答した外国人の割合	22.8%	40.0%
外国人が増える事について良い影響があると回答した日本人の割合	43.4% (2021年度)	55.0%



地域日本語教室の一例（日本語サロン）



地域日本語教室のご案内
(市ホームページ)

基本方針 2 誰もが安心安全に暮らし続けることができるまちづくり

外国人住民が、様々なライフステージとその移行期で困ることがないように、相談・支援体制を充実し、日本人と同様のサービスが受けられる環境をめざします。

2-1 行政情報等の多言語化の推進

- ・ 多言語による情報発信
- ・ 多言語化に関するガイドラインや用語集の作成
- ・ 窓口等での多言語対応の推進
- ・ 文書のデジタル化をはじめとしたDXの推進

2-2 生活相談体制の充実

重点

- ・ 外国人相談窓口の充実
- ・ 身近な交流館等での相談対応

2-3 オリエンテーションとアウトリーチ※による支援

重点

- ・ ライフステージの継ぎ目における体系的・計画的な支援
- ・ 生活ルールなどについての理解促進
- ・ 企業・団体や外国人コミュニティと連携したニーズの把握

※必要な人に必要なサービスや情報が届くよう、積極的に支援すること

●目標指数（KPI）

指標	現状 (2024年度)	目標値 (2029年度)
市役所などの外国人相談窓口があることを知っている外国人の割合	53.7%	75.0%
生活で困ったことがないと回答した外国人の割合	41.9%	60.0%



外国人相談窓口（本庁）



外国人相談窓口
(市ホームページ)

2-4 こどもの教育機会の確保

- ・ 外国にルーツをもつこどもが安心して学べる環境づくり
- ・ 学校へ編入学するこどもへの支援
- ・ 進路指導における情報提供やキャリア教育への対応
- ・ 学校における日本語指導体制の充実

2-5 子育て・保健・福祉・医療・介護等に関する支援

- ・ 子育て・保健・福祉サービスの提供
- ・ 医療分野における多言語対応
- ・ 高齢化する外国人住民への支援

2-6 防災、交通安全・防犯の推進

- ・ 災害時及び災害発生後の対応の充実
- ・ 防災啓発の推進
- ・ 交通安全や防犯活動に関する情報や学習機会の提供

2-7 住まいの確保と就労環境の整備

- ・ 外国人住民に対する居住支援
- ・ 働きやすい就労環境の整備



子育て支援通訳ボランティアの様子



総合防災訓練参加の様子①



総合防災訓練参加の様子②

基本方針 3 誰もが活躍できるまちづくり

地域の維持・活性化に向け、新たな外国人材の受入れや、外国人住民の備後圏域内での定着を支援するとともに、外国人住民との連携・協働を通じて、誰もが活躍できるまちづくりを推進します。

3-1 外国人材の受入れ支援

- 外国人雇用に係るセミナーの開催
- 外国人への配慮のある店舗やサービス等の周知

3-2 定着促進とキャリア形成支援

重点

- 外国人留学生等の職場体験や企業・団体との連携による定着支援
- 企業・団体で働く外国人住民等を対象とした日本語学習への支援
- 多文化共生分野の事業へのサポート

3-3 地域社会への参画と協働

- 外国人住民も参画する交流イベントの開催
- 地域活動への外国人住民の参加促進
- 外国人コミュニティとの連携や協働の推進

3-4 海外都市等との国際交流

- 親善友好都市等との交流の推進
- 国際交流事業への支援と活躍の場づくり

●目標指数（KPI）

指標	現状 (2024年度)	目標値 (2029年度)
福山市にずっと住み続けたいと思う外国人の割合	32.0%	50.0%
外国人留学生の市内就職者数	58人 (2022年度)	80人
国籍や言語の異なる人と日頃から付き合いがあると答えた日本人の割合 ※「親しく付き合っている（知人、友人、職場の同僚等）」、「あいさつ程度の付き合いがある（近所に住んでいる等）」の合計値	27.8% (2021年度)	40.0%



交流イベントでの様子



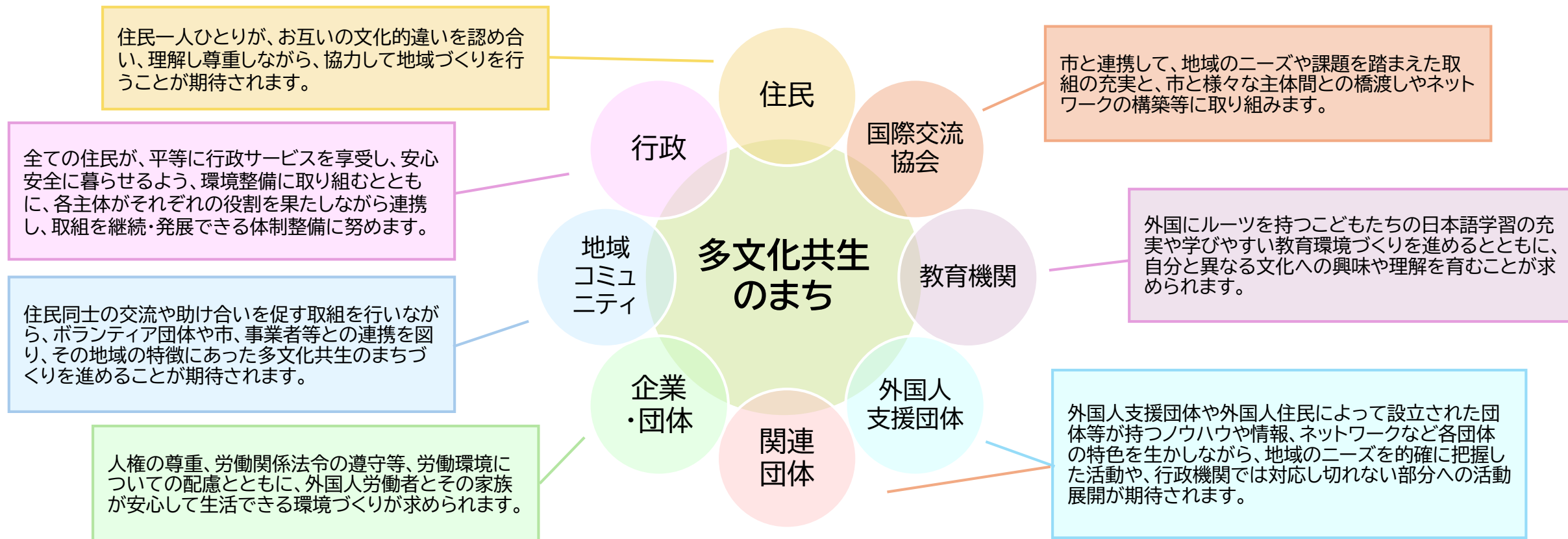
書道体験会での様子

5 推進体制

本プランに基づき、多文化共生施策を計画的かつ総合的に推進します。

なお、外国人住民に関する分野は、生活支援・生活相談、情報提供、教育、まちづくりなど多岐にわたるため、行政や住民、ボランティア等の関係団体や外国人支援団体、地域コミュニティ、大学等の教育機関、企業・団体等と連携し、施策を推進します。

また、広島県、備後圏域市町及び関係機関等と情報交換を行うなど、連携を図る中で、効率的かつ効果的な施策展開に努めます。



※主な取組内容を記載